

# JA甘楽富岡特別栽培タマネギ栽培暦

特別栽培タマネギの化学合成農薬使用成分回数・化学肥料（フツ成分）施用量の基準は、次の通り。

作型	化学合成農薬 (延べ使用成分回数)		化学肥料 (窒素成分kg/10a)		備考
	5割減	慣行	5割減	慣行	
秋まき	5	11	15	30	

## 栽培暦

作型	月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
	旬		上中下	上中下	上中下						上中下	上中下
マメ栽培 (早生種)	主な作業	○-----△△△△△△△△-----□□										
(中生種)		○-----△△△△△△△△△△-----□□□										

○：は種 △：定植 □：収穫

### 栽培上の留意点

- 発芽適温は15～25℃、生育・肥大適温は15～22℃である。暑さには弱く、25℃を越えると生育が劣る。
- 茎の直径が、1 cm以上に生長した苗は、冬期に10℃以下の低温に、30日以上あうと花芽分化し、春の長日目に抽だいする。
- 健苗育成、定植後の活着促進、春の乾燥期のかん水対策などが増収の決め手である。

### 1. 育苗圃場での施肥

- 育苗床の面積は本圃10 a 当たり、1 a とする。
- 育苗床の施肥（1 a 当たり）

肥料名	基肥	追肥	備考
完熟堆肥	150kg		土壌診断結果にもとづき施用する
苦土石灰	10～15kg		
苦土重焼燐(0-35-0)	5～10kg		
野菜高度402(14-10-12)	8～10kg		N - 1.5～1.9
NK-17(17-0-16)		2～3kg	P - 2.6～4.5 K - 1.3～1.7

### 2. 定植圃場での施肥

- 施肥 元肥は、緩効性肥料を主体に、定植の10日以上前に全面に施用し、良く耕しておく。
- 定植圃場の施肥（10 a 当たり）

肥料名	基肥	追肥	備考
堆肥	2,000kg		土壌診断結果にもとづき施用する
苦土石灰	140kg		
苦土重焼燐(0-35-0)	60kg		N - 27.4 (内、化学フツ13) P - 37.8 (内、化学リ酸29.4) K - 22.4 (内、化学剤12.8)
有機078(10-7-8)	240kg		
有機態N - 60%			
有機態P - 50%			
NK-17(17-0-16)		20kg	

### 3. 10 a 当たりの成分量 (kg)・・・(堆肥を除く)

特別栽培（化学肥料5割減）		化学肥料フツ成分15kg以内	
本圃	N - 27.4	P - 37.8	K - 22.4
苗床	N - 1.5～1.9	P - 2.6～4.5	K - 1.3～1.7
(有機N - 14.4, 化学N - 14.5～14.9)			

※化学肥料（窒素成分）については、硝酸態窒素・アンモニア窒素を使用。

※特別栽培農産物については原則的に土壌分析を行う。

※上記資材については土壌分析により施肥量が異なることがある。